

今後の進め方について





担当者会議
(H31.1.23)



第1回
(R1.6.5)



第2回
(8月頃)



第3回
(10月頃)



以降～

○モデルルートを検討

- ・県と国、市町が連携し、モデルルート(案)を検討
- ・既存サイクリングルートやサイクリングイベントのコースを参考に安全性、快適性に配慮
- ・広域連携(県内・県外)ルートについても検討

○モデルルートの決定

- ・サイクリストを惹きつける魅力があるか
 - ・地域の景観、観光資源を活かしたルートか
 - ・魅力ある広域連携ルートか
- } 確認

○取組内容の検討

- ・走行環境の改善
- ・受入環境の充実
- ・情報発信
- ・インバウンド対策(多言語化等)

○取組み内容の決定

- ・持続的な取り組みを推進するための体制、役割分担
- ・関係者が連携し、実施スケジュール作成

○取組内容の進捗状況確認のため、年1回程度で協議会を開催

※ 協議会の開催に先立ち、担当者会議を開催し、詳細な検討作業、調整を実施



モデルルートにおける取組内容の考え方

視 点

安全面の不安

道に迷う不安

走りやすい(少ない交通量・信号)

適度な距離・達成感

起伏に富んだ道路(坂と平坦部)

良好な景観・豊かな自然

休憩施設の不足

自転車の持込方法の確保

トラブル発生時の対応

おいしい食事、魅力あるお土産

豊富な観光施設

サイクリスト向け情報の不足

取組内容(案)

自転車走行環境

走行空間の確保
(路肩拡幅、自転車レーン等の整備)

案内サイン、距離標、路面表示
注意喚起サイン

サイクリスト受入環境

ビューポイントの整備

拠点の整備(道の駅等)

食事・休憩・宿泊施設の充実

自転車輸送手段の確保
公共交通(バス・旅客船)との連携

トラブルサポート体制の充実

情報発信

サイクリスト向け施設情報の提供

受入施設の現地案内表示
(旗、ステッカー等)

進め方(検討方法)

「ナショナルサイクルルート」の
指定に向けた取組を検討

ルート診断
(走りやすさの評価)

・次回、具体的な取組内容について検討・協議

現況調査
(施設配置、受入対応の状況等)

先進事例調査

・次回、具体的な取組内容について検討・協議

先進事例調査

・次回、具体的な取組内容について検討・協議

淡路島の弱み(課題)

淡路島の強み(魅力)



◆ 「サイクルツーリズムの推進に向けた具体の取組」のとりまとめイメージ（一覧表）

取組 1 自転車走行環境の改善

取組の具体的内容	実施箇所等	実施年度	実施主体
〇〇〇〇の整備	〇〇〇〇	20〇〇～20〇〇	県、市
〇〇〇〇の設置	〇〇〇〇	20〇〇～20〇〇	〇〇、〇〇

取組 2 サイクリスト受入環境の充実

取組の具体的内容	実施箇所等	実施年度	実施主体
〇〇〇〇の整備	〇〇〇	20〇〇～20〇〇	〇〇、〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	社会実験	〇〇、〇〇

取組 3 サイクリストへの情報提供の強化

取組の具体的内容	実施箇所等	実施年度	実施主体
〇〇〇〇	〇〇〇〇	20〇〇～20〇〇	〇〇、〇〇
〇〇〇〇	〇〇〇〇	随時	〇〇、〇〇

※ 取組内容が具体的に分かるように(誰がいつまでに何をするのか)整理する。
図面は、ルート全体を示したうえで、整備箇所がわかるようにとりまとめる。



「兵庫県自転車活用推進計画（仮称）」への記載イメージ

サイクルツーリズムの取り組み（浜名湖一周サイクリングルート「ハマイチ」）

○浜名湖におけるサイクリングを推進し、国内外から環浜名湖地域へサイクリストの誘致を図り、サイクリング観光の活性化することを目的として、浜名湖サイクルツーリズム推進会議を平成27年に設置。

浜名湖サイクルツーリズム推進会議

- ・情報発信や受け入れ態勢の整備等を実施（作業部会やワーキンググループを実施）
- ・メンバー（観光・自転車協会等、鉄道・舟運・道路事業者、新聞社、大学、行政等）

快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

○自転車走行空間の整備

・2017年より自転車走行空間整備を実施【2020年（オリンピック）までを目標】

- 矢羽根（青色）の設置
- 自転車ピクトグラムの設置

○ルート案内サインの整備

・2018年から路面表示及び自立型サインの整備を実施【2023年までを目標】

路面表示：走行中のサイクリストを誘導
自立型サイン：目的地までの案内や誘導、方向を伝える



（矢羽根設置箇所の走行状況）



（路面表示）



（自立型サイン）

ハマイチ走行台数(人数) (推計) 約5万人【2017年】

凡例

- ハマイチコース(浜名湖一周)
- 自転車走行空間整備状況
- H29年度整備完了(約34km)
- H30年度整備予定(約31km)
- H31年度以降整備予定(約2km)



<天竜浜名湖鉄道>
有人駅間で、専用輸行バッグを無料で使用可能



全長約67km

静岡県・浜松市作成資料

0

サイクルツーリズム推進のための取組

- バイクピット(68施設)とサイクリストウェルカムの宿(26施設)の認定
- レンタサイクル(8箇所、合計185台) ※施設数、箇所数、台数はいずれも(H30.3末)時点
- 「ガイドライド」や「大試乗会」等のイベント開催
- 鉄道や船へ自転車を積み込む「鉄道や舟運との連携」
- 情報発信(ホームページ、SNS、サイクリングマップ等)



バイクピットの例と認定施設用プレート



鉄道や舟運との連携



毎年開催の「浜名湖サイクルツーリング」



インバウンド対応サイクリングマップ
(日本の交通ルールも掲載(英語))

➡ 本協議会の「最終とりまとめ」の概要版を記載する

資料：自転車活用推進本部